

平成30年度臨時役員会議事要旨

日時 平成30年5月21日（月）13時10分～14時10分
場所 学長室
出席者 和田学長，江頭理事，鈴木理事，海老名理事
欠席者
陪席者 石橋監事，小嶋監事，近藤副学長，関事務局長

議事に先立ち，和田学長から，事前に配付している5月14日開催の「平成30年度第1回役員会」の議事要旨の確認が行われた。

協議事項

1. 平成29事業年度に係る業務の実績に関する報告書（案）について

和田学長から，協議資料1に基づき，平成29事業年度に係る業務の実績に関する報告書（案）について諮られ，協議の結果，協議資料1について，一部修正のうえで承認された。

承認後，和田学長から，5月23日開催の学部・大学院合同教授会及び教育研究評議会，6月18日開催の経営協議会及び役員会の議を経て，6月末までに文部科学省に提出する旨発言があった。

併せて，国立大学法人評価におけるヒアリングについて，第3期中期目標期間においては，「委員会があらかじめ定めた法人」及び「ヒアリングを希望する法人」を主な対象とする取扱いに変更されており，本学は昨年度，委員会に指定されたヒアリングを受けているので，今年度はヒアリングを受けない予定である旨発言があった。

（修正内容）

協議資料1

・20ページ 平成29年度計画【30-1】実施状況

・37ページ ■新たな教育研究組織の検討に係る取組<計画30-1関係>

【修正前】平成27年度に設置したグローバル戦略推進センターに，専任教員3名とグローバル教育担当教員4名（うち3名は経済学科，言語センターからの兼任）を配置し，

【修正後】グローバル戦略推進センターに，専任教員3名とグローバル教育担当教員5名（うち4名は経済学科，商学科，言語センターからの兼任）を配置し，

・28ページ 平成29年度計画【5-1】実施状況

【修正前】AP事業においては，平成27年度から平成28年度までの2年間の取組に関して，日本学生支援機構による中間評価が実施され，本学は総括評価A評価を獲得し，「事務局の複数課による組織横断的な体制で業務を進め，縦割りを排除している」ことや「教職協働の体制を構築し日常的な打合せなどにより情報共有を行い進捗状況を把握している」ことが評価された。

【修正後】AP事業においては，平成27年度から平成28年度までの2年間の取組について，日本学術振興会による中間評価が行われ，「事務局の複数課による組織横断的

な体制で業務を進め、縦割りを排除している」ことや「教職協働の体制を構築し日常的な打合せなどにより情報共有を行い進捗状況を把握している」ことが評価され、本学は総括評価A評価を受けた。

最後に、和田学長から、次回の役員会については、5月28日（月）経営協議会終了後に開催予定である旨発言があった。

引き続き、役員懇談会が開催された。

以 上